

IISORA 第11回シンポジウム 福島

原発事故から9年、 避難と帰村のハザマに生きる飯舘村民の想い

主催：飯舘村放射能エコロジー研究会 (IISORA)

共催：NPO 法人エコロジー・アーキスケープ

2020年3月21日(土) 13時~18時30分

場所：福島県青少年会館 大研修室 (収容人数 200 名程度)

参加者：どなたでもお気軽にご参加いただけます。

参加費：無料

協力団体：映画『遺言』プロジェクト、原子力資料情報室、原発事故被害者相双の会、国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン、国際環境 NGO FoE Japan、市民エネルギー研究所、星槎大学鬼頭研究室、日本環境会議 (JEC)、日本大学生物資源科学部糸長研究室、ふえみん婦人民主クラブ、福島の子どもたちとともに・湘南の会、BIOCITY、早稲田大学社会科学部家田研究室

お問い合わせ / IISORA 福島シンポジウム事務局 tel : 090-6601-6786 email : sympo@iitate-sora.net

IISORA URL : <http://iitate-sora.net/>

絵：糸長浩司 11-20 の葛藤

プログラム

●13:00 開会あいさつ 菅井益郎 (IISORA)

●13:10-14:25 避難・帰村・二地域暮らしの葛藤

◇進行：浦上 健司

村民による放射能の継続測定 伊藤 延由 (飯館村民)

ゆるやかなつながりを感じる場を楽しむ 横山 秀人 (飯館村民)

帰村による農地、地域管理の闘い 長谷川 健一 (飯館村民)

<休憩 14:25 - 14:35>

●14:35-15:25 飯館村の再生に向けた施策に求められるもの

◇進行：糸長 浩司

二地域暮らし、農の再生、村の再生 菅野 哲 (飯館村民)

飯館村の第六次総合計画策定と再生課題 佐藤 健太 (飯館村議会議員)

<休憩 15:25 -15:35>

●15:35-17:15 長期的放射能汚染を問う (訴訟、長期的なふるさと再生のために)

◇進行：澤井 正子

東電刑事裁判の不当な判決と控訴審への思い 武藤 類子 (福島原発訴訟団団長)

大熊町の現状と将来 木幡 ますみ (大熊町議会議員)

長期的な汚染地域課題 (森林汚染・除染土壌再利用) と支援活動 ... 糸長 浩司 (IISORA)

人口動態統計データにみる飯館村などの死因の推移 今中 哲二 (IISORA)

●17:15-18:20 総合討論

◇進行：糸長 浩司

全登壇者

●18:20-18:30 総括あいさつ

今中 哲二、糸長 浩司

○福島県青少年会館

<http://fukushima-youth.com/youth/access/>

〒960-8153 福島県福島市黒岩字田部屋 53 番 5 号

